

平成30年 10月16日

(あて先) 一宮市長

<申請者>

所在地 愛知県一宮市大和町馬引郷東 1-12

団体名 「生」教育助産師グループ OHANA (オハナ)

代表者 職・氏名 会長 坂井 桃子

一宮市市民活動支援金交付申請書

一宮市市民活動支援金の交付を受けたいので、一宮市市民が選ぶ市民活動に対する支援に関する条例第5条の規定により、下記のとおり申請します。

記

1 事業の名称	一宮の未来ある子ども達の心を育む助産師の「生」と「性」の教育活動		
2 事業の分野 <small>(主たる分野を一つ 選択し、○で囲んで ください。)</small>	保健・医療・福祉 観光の振興 環境の保全 人権・平和 子どもの健全育成 経済活動 NPO支援	社会教育 農山漁村・中山間地域振興 災害救援 国際協力 情報化社会 職業能力・雇用機会 その他()	まちづくり 文化・芸術・スポーツ 地域安全 男女共同参画 科学技術 消費者の保護
3 支援金交付申請額	556,000円		

(算出基礎)

事業に要する経費 (a)	836,000円
事業に要する経費のうち対象となる経費 (b)	834,000円
当該事業によって得られる収入 (c)	150,000円
支援金交付申請額※ 上限:「(b)×2/3」または「(a)-(c)」のいずれか高くない方	556,000円

※ 1円未満切捨て

4 添付書類

- (1) 一宮市市民活動支援に係る団体調書 (様式2)
- (2) 一宮市市民活動支援金申請事業に係る計画書 (様式3)
- (3) 一宮市市民活動支援金申請事業に係る収支予算書 (様式4)
- (4) 団体の規約その他これに類するもの



備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4 (片面印刷) とする。

一宮市市民活動支援に係る団体調書

団 体 名	「生」教育助産師グループOHANA (オハナ)		
市内事務所の所在地	〒491-0931 一宮市大和町馬引郷東 1-12		
代表者 職・氏名	会長 坂井 桃子		
設 立 年 月	2013 年 1 月	構成員の人数	7 人
U R L	http://ohanamidwife.jp/		
連 絡 先	(担当者氏名) 坂井 桃子		
※この申請に関する 問合せに対応できる方	電 話	090-9747-7821	F A X 0586-43-4696
	E-mail	moo29kei8mado613@gmail.com	
団 体 の 目 的	<ul style="list-style-type: none"> ・子供が“自分の命”や“他人の命”を大事にする心を育む活動 ・青少年の性被害や自殺の予防 ・助産師の視点で「生」と「性」を踏まえた子育て支援と虐待予防 ・家庭での「生と性の教育」に関する親の教育力向上へのサポート 		
主 な 事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・教育機関への出張講座「いのちの授業」 ・民間施設において各世代への教室を開催 (家庭での性教育や育児に伴う相談なども含む) 		
主 な 活 動 の 実 績	<ul style="list-style-type: none"> ・「生」教育助産師グループ OHANA ●平成 25 年度 5 講座 (計 80 名) ●平成 26 年度 10 講座 (計 1000 人) ●平成 27 年度 37 講座 (計 3200 人) ●平成 28 年度 40 講座 (計 2300 人) ●平成 29 年度 55 講座 (計 5230 人) <p style="text-align: right;">合計 約 11,810 名(大人・子供併せて)</p>		
今 年 度 予 算 額	751,800 円	昨 年 度 決 算 額	490,673 円
条例第2条第3項に掲げる要件について	すべて満たしている ・ 一部または全部満たしていない		
市からの他の補助金等の有無	有 (補助金等の名称:) 無		

一宮市市民活動支援事業に係る計画書

<p>団体名</p>	<p>「生」教育助産師グループOHANA (オハナ)</p>
<p>事業の名称</p>	<p>一宮の未来ある子供たちの心を育む 助産師の「生」と「性」の教育活動</p>
<p>事業の内容</p>	<p>(1) 実施期間 2019年 4月 1日 ～ 2020年 3月 31日</p> <p>(2) 実施場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一宮市内の幼稚園・保育園並びに小学校・中学校・高等学校などの教育機関 ●一宮市市民活動センター等の公共施設や民間施設 <p>(3) 受益対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一宮市内の幼児・児童・青少年とその保護者 ●今後親となる夫婦 (妊婦も含む) ●婚前男子・婚前女子 <p>(4) 実施体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ●教育機関にて「いのちの授業」を実施 (幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校など) からの依頼に対応する。 *事前打合わせは、当会スタッフ1名が担当する ●公共施設や民間施設での親子教室開催 インターネット及びパンフレット・チラシを利用した広報活動を行う。 *事前予約は、当会スタッフ1名が担当する。 <p>(5) 具体的な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ●いのちの始まりや胎児の成長、誕生の仕組みを伝える出張授業を行う。各世代の成長発達段階を考慮し、かつ学校側の意向に合わせた授業内容を構成し実施する。 ●性教育に関連する教室を月1回 (90分) 程度実施する。 講座内容は、①低学年の向け、②高学年向け、③男児向けや女児向けの性別を分けた親子参加型教室、④保護者のみ参加の性教育教室などを予定している。 予約制で実施し、受講料は親子1組で1000～1500円/回し、受講者のニーズに答えられるよう事前に質問や困っていることがないか等聞き取りを行う。 また、いのちの教育についての質問はもちろんのこと、日常の子育ての悩みなどの育児相談も受け付ける。実施後には事業の効果を確認するために、アンケートを実施する。 ●助産師・看護師を目指す学生のための講座も組み入れる。
<p>事業のふりかえりとその生かし方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、講座の参加者にアンケート・感想記入を実施し、事業効果を確認する。 ・今年度も前年度開催の教育機関全てに、当グループの活動概要・内容・紹介パンフレット・資料などを発送した。結果ほぼ全ての学校から継続の依頼を得られた。今後は更に周知されるよう実際に教育委員会にプレ授業を行うなどの周知活動を働きかけていく。
<p>当該事業を実施する理由</p> <p>※目指す地域・社会像や、事業を実施することにより、どのような課題が解決され、</p>	<p>近年、青少年の“自殺”や“いじめ”又、“虐待”など、命の尊さが軽視されるような事件が多発している。特に愛知県は、いじめの発生件数が全国トップクラスである。また子供への虐待に関するニュースもほぼ毎日報じられている。一宮市においても、全国と同様に虐待相談件数は増加の一途をたどっている。市内の教育委員会や関連機関が様々な対策を講じているが、なかなか改善は見られない。これらの問題は、「自分の存在意義を認識し、ありのままの自分を受け止める」という自尊感情や自己肯定感が乏しいことが一端となっていることは周知の事実である。</p>

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4 (片面印刷) とする。

備考2 ページ数は2ページまでとする。

<p>どのように目指す地域・社会に近づくか等を記載してください。</p>	<p>更に、昨今では「性」の意識や価値観が多様化し、ネット社会の影響も含めると、性に関する情報は以前にも増して氾濫し、性問題も深刻化している。まさに「生」と「性」が混沌としていると言える。助産師の視点より、幼少の頃から命の誕生の成り立ちや過程、そして命を生み出す「性」について伝えること、また“子供や青少年”だけでなく、“子育て中の母親”へ「いのちの大切さ」を改めて《気づき》の機会として伝えることは重要である。</p> <p>昨年度に続き、一宮市市民活動支援制度の助成金を活用したことで活動が更に充実した。前年度に講座依頼を頂いた教育機関ほぼすべてから今年度も継続しての依頼を頂いた。また市内の学校から新たな依頼が4校あり、合計15校からの依頼を受けている。(小学校においては市内の3分の1の学校から依頼を受けていることとなる。)市内の保護者は勿論、校長先生・教務主任の先生方から、移動先の学校でも講座を実施して欲しいとの要望を頂く機会もあり、今後市内の教育機関での依頼がさらに増えていくことも考えられる。こうした依頼からも保護者含めて学校からの評価も頂いていることが感じられる。また、</p> <p>① 公共施設での講座においてはこの助成金のおかげで参加費の設定が低くできた事 ② 告知活動がしやすくなった事</p> <p>以上の理由で参加もしやすくなり「助成金を運用しながらの活動を続けて欲しい」との声も聞かれた。私達助産師が専門性を十分に活かした前述の活動を今後も継続して行うことは、一宮市内の“虐待”“自殺”や“いじめ”予防などに繋る自尊感情や自己肯定感を育む一端を担えるものとして、有効性があると言える。</p> <p>今後は、更に近隣の他県(静岡県)などでの同様の活動を参考に、保健センターや学校の教育機関と連携をはかり、思春期教育に助産師目線を組み入れた事業の実現化を目標にしたい。その為にも各機関に働きかけていくことにも力を入れていきたいと考えている。</p>	
<p>費用負担について</p> <p>※受益者負担が求められるかどうか、公金で実施する理由などを記載してください。</p>	<p>市内の公立学校は、予算に乏しく受益者負担のみで本事業を成り立たせることは困難である。しかし、助産師だからこそ伝えられる「生」や「性」を、“市内の子ども達”や“子を産み育てる女性”、“その家族”に伝えていきたいと考えている。命の現場にいた助産師の視点で、専門性を十分に活かしたこの教育活動は、公益性の高い事業と言える。このような理由からも、この事業を行っていくことは公金負担に相応しい事業と考える。</p>	
<p>事業スケジュール</p>	<p>時期(月)</p> <p>4月上旬</p> <p>4月下旬～3月末</p>	<p>内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の学校へ、講座開催のお知らせを実施。 ・市内で30講座を目途に、講座開催実施を日時含めて決定する ・市民活動支援センター や民間施設での親子講座の実施に向けてスケジュール決定。

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4(片面印刷)とする。
備考2 ページ数は2ページまでとする。

一宮市市民活動支援事業に係る収支予算書

団 体 名： 「生」教育助産師グループ OHANA

事業の名称： 一宮の未来ある子ども達の心を育む助産師の「生」と「性」の教育活動

収入

科 目	金額（円）	内 訳
一宮市支援金	556,000 円	
事業収入	150,000 円	教育機関の収入 70,000 民間施設での収入 80,000
自主財源	130,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 会費収入・寄付収入より <input type="checkbox"/> 他事業の収入より <input type="checkbox"/> その他（ ）
計	836,000 円	

支出

科 目	金額（円）	左記のうち 支援金算出額（円）
報償費	315,000	315,000
旅費	0	0
印刷製本、消耗品費	58,000	58,000
食糧費	0	0
通信費、手数料	9,800	9,800
備品費	0	0
人件費	405,200	403,200
使用料、賃借料	48,000	48,000
その他	0	0
計	836,000	834,000

支出科目の内訳

科 目	金額 (円)	内 訳※1
	支援金算出額 (円)	
報償費	315,000 円	内部アドバイザー @10,500 円×20 回 (教育機関)
	315,000 円	内部アドバイザー @10,500 円×10 回 (公共・民間施設)
旅費	0 円	
	0 円	
印刷製本、 消耗品費	58,000 円	パンフレット印刷代 200 部 (A3 観音折両面カラー) 16,000 円
	58,000 円	講座のチラシ・資料印刷代 18,000 円 インク代 18,000 円 文房具 (紙など) 6,000 円
食糧費	0 円	
通信費、 手数料	9,800 円	パンフレット等郵送料 @140 円×70 部=9,800 円 一宮市内の小学校・中学校・高等学校
	9,800 円	一宮市市内の幼稚園・教育科のある大学など
備品費※2	0 円	
	0 円	
人件費	405,200 円	事務 @900 円×4 時間×12 回=43,200 円 パンフレット制作 @900 円×2 時間×10 回=18,000 円 教育機関等への事前打ち合わせ作業 @1,000 円×20 回=20,000 円 (@900 円×1 時間×20 回=18,000 円)
	403,200 円	講座サブスタッフ @900 円×4 時間×30 回×3 名=324,000 円
使用料、 賃借料	48,000 円	会場賃借料 (木曾川 つくる。・助産院など) つくる。@14,000 円×2 回=28,000 円
	48,000 円	駐車場代 (一宮市市民活動支援センターなど) @500 円×4 台分×10 回= 20,000 円
その他	0 円	
	0 円	

※1 一部が「支援金算出額」となる場合は、その該当分のみを () 書きで再掲してください。

例) スタッフ費用 @1,000 円×5h×2 人=10,000 円 (@900 円×5h×2 人=9,000 円)

※2 備品費を計上する場合は、内訳欄に購入理由も記載してください。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 (片面印刷) とする。